

# CDC が「差し迫る世の終わり」から 6 週後「あなたは自由」に豹変

——「科学」に従った結果？

Infowars.com by Zero Hedge

May 17, 2021

<https://www.infowars.com/posts/following-the-science-cdc-shifts-from-impending-doom-to-youre-free-in-6-weeks/>

3 月の終わり、「データ上は」特にトラブルの徴候も全くなき——そして体制側が、「時期尚早に」「向こう見ずに」COVID の規制を解除する、いくつかの赤い州を、「ネアンデルタール思考」だとして、激しく叩いていたときに——新しく任命された CDC 所長の Rochelle Walensky が、「原稿なしに」（とはいえ、彼女の目を見ていれば、原稿を読んでいたのは確かだが）、「差し迫る死に運命」について世間を警告し、わずかだが COVID 患者と、その入院が増えていると言った。

「現在、私は怖れています」と彼女は、涙を抑えるように言って、声をあげた。

ファウチはこの運命を、指で差しながら強調した：

「私は、ここに見ているこの停滞と、急上昇に転じないことを願っている、この増加の理由は、我々が開放ということに関して、実は現在、時期尚早に動いているからだと思っています。」

その時点で、我々は、ワレンスキーの怖がらせのレベルは、胸が悪くなるような不正直なものであり、アメリカ人は、そのような感情的操作に、だんだん無感覚になっていると指摘した。

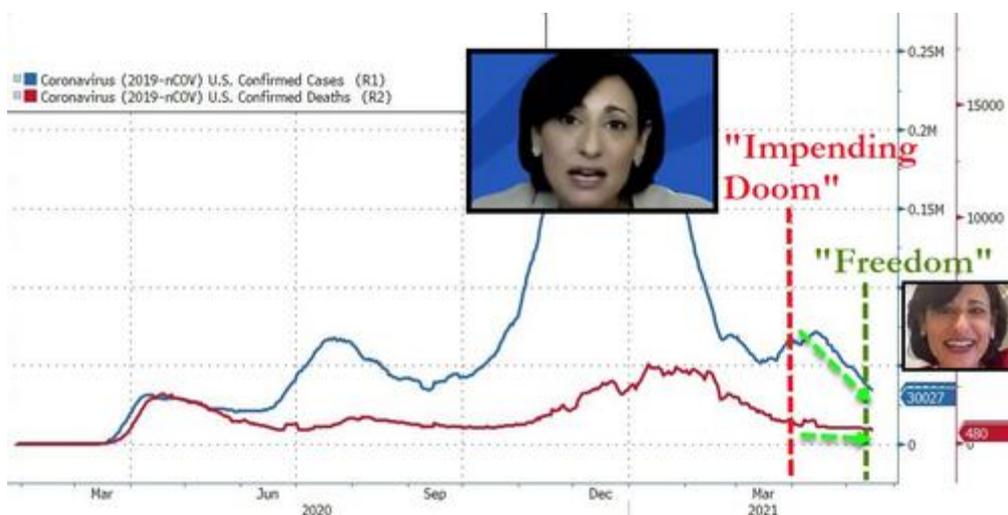
そして今、ほんの 6 週間後、世の終わりや、怖がらせや、パニックを煽る二枚舌が完全に偽りであることがわかり、最も左の左派からさえ「何とかしろ」という政治的圧力がかかるようになって、マスクははずされ、(ワクチン接種された者たちの) 自由が、「我々人民」のもとへ帰ってきた。

マスクの改訂法が4月27日、人民に許されて戻り、完全にワクチンを済ませた者たちは、少し気を付ければ、戸外でたいていのことを許すという達しを出した後——このときも、ますます混乱したアメリカ人民からの、政治的圧力の中で——CDCは再び、そのマスク・ガイダンスを改訂すると通達し、今、完全にワクチンを済ませた者たちは、屋内でも戸外でも、マスクなしで歩いてよいことにした。

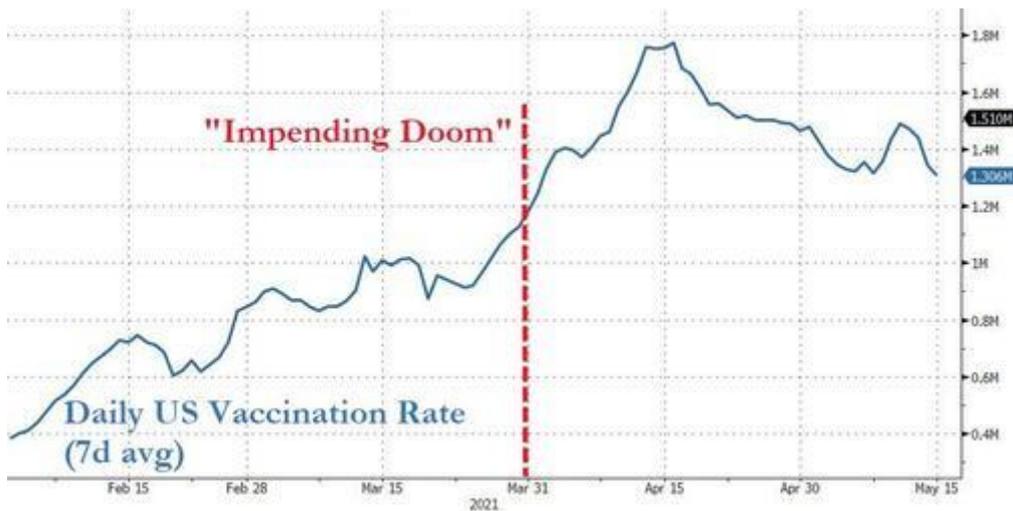
「完全にワクチン接種の済んだ人は誰でも、屋外の活動でも戸外の活動でも、大小を問わず、マスクを着ける必要も、身体的に距離を取る必要もなしに、参加することができます」と、ワレンスキーは言った。

「継続する患者の下降線、我々のワクチンの振舞いについての科学的データ、ウィルスの拡散の仕方についての我々の理解に基づいて、接種の完了している人々については、その時がやってきました」と、彼女は続けた。

CDCのメッセージとして、これ以上に豹変するものはないだろう。



そして、もし、差し迫る世の終わりという「大きなウソ」の目的が、怯えたアメリカ人に対し、「ワクチンを打たないと死ぬぞ」と勧告することであるなら、ここで再び、データの中の「科学」は、うまくいかなかったことを示している。なぜなら、毎日のワクチン接種率は、ワレンスキーの怖がらせ以来、基本的に下降線を辿っているからである。



ソース：Bloomberg

Stephen Miller が注意したように、ファウチは、母の日（1週間前）に、この国は今から1年前になっても、マスクを含めて、通常に戻ったとは言えないだろう、と言った。…そして今日、彼は CBC の日曜日の Face the Nature でこう言った：

「これらの科学的事実、情報、そして証拠の蓄積から、CDC が決定したことは、あなた方がワクチンを受けていれば、もうマスクをする必要はなく、戸外だけでなく屋内でも、その必要はなくなったということだ。」

（動画があるが、再生できないことになっている）

科学が、どれほどの政治を行うことができるのか、驚くべきである！？

しかしワレンスキーは国家に対し、「我々はここで科学に従っている」と保証している。

政治的科学的か？

Fox News Sunday でのインタビューで、ワレンスキーは、CDC が以前のマスク着用の立場を変えたのは、何があったのかと訊ねられた。ホストの Chris Wallace は言っている：—水曜日夜の時点では、ワレンスキーは、まだ、ワクチン接種完了のアメリカ人でも、屋内ではマスクを続けるべきだと言っていた。しかし木曜日に、アップデートされた CDC ガイドラインが、ワクチン完了者は「パンデミック前に行っていた活動を続けることができる」、だからマスク着用や、ほとんどの戸外や屋内での、社会的距離の必要はない、とはっきり言った。

ウォレスは次に、一般大衆からの、また上院議員 Bill Cassidy (共、ルイジアナ) などからの「増大するプレッシャー」を指摘した。キャシディは上院の公聴会で、科学と、科学に従っているという保健役人との、明らかな食い違いについて触れている。

**「あなたは、はっきりとアメリカ国民に向って、プレッシャーは、CDC ガイドラインの急激な変更は何の関係もないと言えますか？」**と、ウォレスは訊ねた。

「はい、言えます」とワレンスキーは答えた。「私は、科学が一週間早く進化していて、私が議会へ行行って、あのような言明をする必要がなかったならば、もっと簡単だったろうと言うことができます。しかし私は、科学が医学ジャーナルに届けられた (delivered) 通りに、科学を届けたのです」

「そして、いいですか、科学はこの最後の週に進化したのです。その事例が、最後の 2 週間のうちに降りてきたのです」と、彼女は続けた。「私はその情報が利用可能になるや否や、寸刻を待たず、それを届けたのです。」

ワレンスキーのコメントには、また同時に、CDC の事情が重なっており、CDC は学校再開のガイダンスを、米連邦教師連合 (AFT)、すなわちアメリカの 2 番目に大きな教師連合の影響によって変えたと言われている。ニューヨーク・ポストの受け取った多くの E メールによれば、AFT は、このガイドラインの下書きを検分し、CDC は、この連合の勧告の少なくとも 2 項目を、ほとんど文字通りに取り入れたという。

**「最近、発表された E メールによれば、CDC は科学に従うのではなく、教師連合から、その指示を得ようとしていることを示している」と**、連邦共和党議員の 4 名のグループが、ワレンスキーに手紙を書き、NY ポストの暴露について説明を求めている。

「この政治的干渉は、学校の再開に数か月に及ぶ遅れを生じさせ、アメリカの子どもにとって大きな痛手となった。」

サイエンスとは、スキームエンス (権謀術数) のことか！

**もちろん、CDC の「新しい科学」を信じない人たちも中にはいる。**——マスクが要求されないのは、戸外の蔓延が、あらゆる意図や目的にとって、そもそも誰のためにも存在しないからである。そして屋内の、ワクチン接種を受けた人への、またその人からの蔓延は、最悪でも無視できるもので、それは、それらの功德を説教するために、好んで続けられている。

そしてもちろん、AOC（熱狂的な女性左翼議員）は、彼女のインスタグラム信奉者たちにこう話した——「個人的には、私は、共有する屋内の公的空間では、マスクを着用し続けるつもりだ。それはまた、私がどうしてもメイクアップをしたくない時には、すばらしいアクセサリとなる。」

### 「Gretchain 訳注」

これは、一つには、この聡明で軽妙な文章に惹かれて訳した。5月17日の記事でもそうだった。我々は誰でも、心を健康に保ってくれる文章に、惹かれるようにできている。このウソで固めた、しかし誰もこれを、ウソだと言ってくれない世界に生きていれば、当然、心の健康は蝕まれる。「瘴気」という言葉があり、いま我々は、瘴気の漂う、ほとんどはメディアの泥沼から発生する、悪性の病気の支配する世界に生きている。本当のことを言う人が現れ、また隠された真実が暴かれるごとに、我々は少しずつ健康になっていく。いま世界に、どれほどの、そういう健康の回復を願う人が多いことだろうか！